

旧高旧領取調帳と農業集落境界データ による幕末の近世村データ復元

1. はじめに

このデータセットは、03_src フォルダより、元データとなるデータベースれきはくの旧高旧領取調帳と農業集落境界からの復元するソースコードです。石高を付与したい場合はこちらを利用ください。

データベースれきはくの旧高旧領取調帳は、旧高旧領取調帳データベースは、木村礎氏（明治大学教授）の校訂により近藤出版社から刊行された日本史料選書のうちの「旧高旧領取調帳」全 6 冊を原データとして、歴博の歴史研究部と情報資料研究部が共同で作成されたものです。

国立歴史民俗博物館データベース[利用規程](#)に従って下さい。

農業集落境界データは、農林水産省が 5 年ごとに行っている農林業センサスで用いられている調査単位であり、農林水産省から公開されている shapefile データです。

[地域の農業を見て・知って・活かす DB](#) で公開されています。

・「地域の農業を見て・知って・活かす DB」は、どなたでも複製、公衆送信、翻訳・変換等の翻案等、自由に利用できます。・「地域の農業を見て・知って・活かす DB」を利用する際は、出典を明示してください。また、「地域の農業を見て・知って・活かす DB」を編集加工して利用する場合は、編集・加工者も明示してください。・「地域の農業を見て・知って・活かす DB」の利用目的及び利用方法については、利用者の判断と責任に委ねられており、農林水産省は一切関与いたしません。・事由の如何を問わず、「地域の農業を見て・知って・活かす DB」を利用することにより生じた利用者又は第三者の損害については、利用者がそのすべての責任を負うものとし、農林水産省は一切の責任を負いません。

処理には R と QGIS を用います。バージョンに依存する機能は使っていないと思われますが、作成に用いたバージョンは以下の通りです。

・ R 4.1.2

・ QGIS 3.22.6

R 等のプログラムを流したことによる不具合等の一切の責任は負いません。

前提として、当データのエンコードは Shift-JIS としています。文字化けが発生する場合はエンコードの設定を確認してください。

2. データリスト

Folder	File	
	src からのデータ成方法_[日付].pdf	データ作成方法について
01_data	01_Rekihaku.csv	れきはくからコピーしたレコード (各々で作成)
	02_Base_Record_diff.csv	データベースれきはくの旧高旧領取調帳の補完するデータ (Ver1.*版)
	02_Base_Record_diff_v2.csv	データベースれきはくの旧高旧領取調帳の補完するデータ (Ver2.*版)
	03_VID_latlon_230930.csv	VID 毎の緯度経度
	04_RekihakuRecord_VID_AID.csv	データベースれきはくのレコード ID と VID と AID の対応関係
	05_KEY_AID.csv	農業集落境界データの KEY Code と AID の対応関係
	れきはくからのコピー形式.xlsx	データベースれきはくの張り付け例
02_src	01_JoinData_[日付].R	データベースれきはくのデータの整理と位置データの統合する R コード
	02_VillagePoint_[日付].R	村毎のポイントデータを作成する R コード
	03_PolygonField_[日付].R	村ポリゴンの作成のためのフィールドデータを作成する R コード
03_result	BaseRecord_Join.csvt	出力される BaseRecord_Join.csv のフィールド定義
	近世村ポイントデータ.csvt	出力される近世村ポイントデータ.csv のフィールド定義
	近世村ポリゴンデータ.csvt	出力される近世村ポリゴンデータ.csv のフィールド定義

3. 元となるデータの用意

3.1. 旧高旧領取調帳のデータ抽出

初めに、旧高旧領取調帳のレコードから CSV を作成します。

データベースれきはくはくの旧高旧領取調帳にアクセスします。

<https://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html>

データベースの諸元は以下の通りです。

旧高旧領取調帳データベースは、木村礎氏（明治大学教授）の校訂により近藤出版社から刊行された日本史料選書のうちの「旧高旧領取調帳」全 6 冊を原データとして、歴博の歴史研究部と情報資料研究部が共同で作成しました。江戸時代の国・郡ごとに村名と旧領名、旧高（石高）、旧県名を収録した文献データベースです。

「旧高旧領取調帳」は、明治政府が編纂した江戸時代の末期時における全国村名目録で、明治初年における近世村落の概要を知ることのできる貴重な資料ですが、現在は写本しか伝来していないため誤記や表記の統一性に欠けることが少なくありません。そこで、このデータベースでは誤記と思われる箇所は訂正するとともに、表記の統一性に努めました。また、新たに村名の読み仮名と現行政地名を付し、検索の便に供しました。

3.1.1. レコード検索と張り付け

旧高旧領取調帳データベースの検索ページの「旧国名」に空白” ”を入れることでレコード順にすべてのレコードが表示されます。それを Excel に張り付けてください。1 ページが最大 2000 レコードなので 50 回ほどの張り付け作業になります。

張り付けのサンプルとして [データベースれきはくからのコピー例.xlsx](#) を参考にしてください。

[れきはくホームページへ](#)[データベース選択へ戻る](#)[ヘルプを表示](#)

旧高旧領取調帳データベースの検索

検索語を入力し，【検索】ボタンを押してください。（[検索語例](#)）

検索

クリア

③ 検索

旧国名

旧郡名

旧村名

フリーワード

旧国名一覧

旧郡名一覧

旧村名一覧

旧領名一覧

旧県名一覧

地名1

地名2

市町村コード1一覧

市町村コード2一覧

① “ ” 空白を入れる

結果表示件数: 2000

② 表示件数を最大値 2000 にする

[れきはくホームページへ](#)[データベース選択へ戻る](#)[ヘルプを表示](#)

[National Museum of Japanese History, All rights reserved.](#)<http://www.rekihaku.ac.jp>



図 1 検索画面と検索方法

[れきはくホームページへ](#)[データベース選択へ戻る](#)[検索へ戻る](#)[ヘルプを表示](#)

旧高旧領取調帳データベースの検索結果

検索条件：旧国名 =
検索結果：97359件データが見つかりました。

次へ

(1~2000)/97359

へ

ジャンプ

ソート

絞り込み検索

検索履歴・AND/OR検索

TOTAL

詳細情報を御覧になる場合には、番号をクリックしてください。

(1~2000)/97359件数

番号	旧国名	旧郡名	旧村名	ふりがな	旧領名	旧県名	旧 高 (1)	旧 高 (2)	市町村コード1	市町村コード2
1	磐城国	白河郡	郷渡村	ごうど	幕府領分	白河県	584.452026	5 8 4 . 4 5 2	07205	
2	磐城国	白河郡	新郷渡村	しんごうど	幕府領分	白河県	31.264999	3 1 . 2 6 5	07205	
3	磐城国	白河郡	高萩新田	たかはぎしんでん	幕府領分	白河県	36.960999	3 6 . 9 6 1	07462	
4	磐城国	白河郡	社仁井田村	やしろにいだ	幕府領分	白河県	387.002991	3 8 7 . 0 0 3	07462	
5	磐城国	白河郡	小松新田	こまつしんでん	幕府領分	白河県	85.373001	8 5 . 3 7 3	07462	
6	磐城国	白河郡	松原新田	まつばらしんでん	幕府領分	白河県	78.500999	7 8 . 5 0 1	07462	

図 2 検索結果のコピー

K11 :

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	番号	旧国名	旧郡名	旧村名	ふりがな	旧領名	旧県名	旧 高(1)	旧 高(2)	市町村コード1	市町村コード2
2	1	磐城国	白河郡	郷渡村	ごうど	幕府領分	白河県	584.452	584.452	7205	
3	2	磐城国	白河郡	新郷渡村	しんごうど	幕府領分	白河県	31.265	31.265	7205	
4	3	磐城国	白河郡	高萩新田	たかはぎしん	幕府領分	白河県	36.961	36.961	7462	
5	4	磐城国	白河郡	社仁井田	やしろにいい	幕府領分	白河県	387.003	387.003	7462	
6	5	磐城国	白河郡	小松新田	こまつしん	幕府領分	白河県	85.373	85.373	7462	
7	6	磐城国	白河郡	松原新田	まつばらしん	幕府領分	白河県	78.501	78.501	7462	
8	7	磐城国	白河郡	金山村	かねやま	幕府領分	白河県	1258.474	1258.474	7462	
9	8	磐城国	白河郡	閼場村	せきば	幕府領分	白河県	571.272	571.272	7462	
10	9	磐城国	白河郡	高木村	たかぎ	幕府領分	白河県	525.668	525.668	7462	
11	10	磐城国	白河郡	若栗新田	わかぐりしん	幕府領分	白河県	75.878	75.878	7463	
12	11	磐城国	白河郡	嘉左衛門	かざえもん	幕府領分	白河県	4.255	4.255	7463	
13	12	磐城国	白河郡	大田輪村	おおたわ	幕府領分	白河県	449.101	449.101	7504	
14	13	磐城国	白河郡	川原田村	かわらだ	幕府領分	白河県	1123.87	1123.87	7465	
15	14	磐城国	白河郡	二子塚村	ふたごづか	幕府領分	白河県	769.863	769.863	7465	
16	15	磐城国	白河郡	滑津村	なめづ	幕府領分	白河県	2766.031	2766.031	7465	
17	16	磐城国	白河郡	小田川村	おだがわ	幕府領分	白河県	1428.284	1428.284	7482	
18	17	磐城国	白河郡	大田川村	おおたがわ	幕府領分	白河県	833.993	833.993	7464	
19	18	磐城国	白河郡	踏瀬村	ふませ	幕府領分	白河県	695.143	695.143	7464	
20	19	磐城国	白河郡	踏瀬新田	ふませしん	幕府領分	白河県	17.675	17.675	7464	
21	20	磐城国	白河郡	大和久村	おおわく	幕府領分	白河県	613.573	613.573	7466	
22	21	磐城国	白河郡	須垂村	すのり	幕府領分	白河県	263.061	263.061	7466	

図 3 Excel への張り付け例

張り付けたデータを CSV 形式の”01_Rekihaku.csv”というファイル名で 01_org に保存してください。

3.2. 農業集落境界データ(2015 年)の準備

このデータでは 2015 年の農業集落境界データを用います。最新の 2020 年の農業集落境界データではありません。

農林水産省 農業集落境界データ公開ページ

ホーム > 統計情報 > 地域の農業を見て・知って・活かす DB ～農林業センサスを中心とした総合データベース～ 地域の農業を見て・知って・活かす DB（2015 年農業集落基準） > 農業集落境界データ

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/2015/ma/index.html

農林水産省

English キッズサイト サイトマップ

逆引き事典から探す

組織別から探す

キーワードから探す Google 提供

検索

会見・報道・広報

政策情報

統計情報

申請・お問い合わせ

農林水産省について

ホーム > 統計情報 > 地域の農業を見て・知って・活かすDB ～農林業センサスを中心とした総合データベース～ > 地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年農業集落基準） > 農業集落境界データ

このページは、2015年農林業センサスを基準としたデータを提供するものです。最新の2020年農林業センサスを基準としたデータは、[こちら](#)をご覧ください。

農業集落境界データ

タブをクリックすると項目ごとのデータ掲載先一覧が表示されます

トップページ

掲載データ

農業集落境界データ

タブを閉じる ×

2015年農林業センサスの農業集落境界データ（SHAPE形式・世界測地系・経緯度座標系）です。GISソフトウェアにより、農業集落別のデータと組み合わせてご利用いただけます。

農業集落の範囲は、「農業集落境界の閲覧」[（外部リンク）](#)のページでご確認いただけます。

1.農業集落境界

01 北海道 (ZIP : 21.0MB) 	02 青森県 (ZIP : 4.7MB) 	03 岩手県 (ZIP : 11.0MB) 
04 宮城県 (ZIP : 8.9MB) 	05 秋田県 (ZIP : 7.9MB) 	06 山形県 (ZIP : 3.6MB) 
07 福島県 (ZIP : 8.9MB) 	08 茨城県 (ZIP : 3.9MB) 	09 栃木県 (ZIP : 3.4MB) 
10 群馬県 (ZIP : 4.5MB) 	11 埼玉県 (ZIP : 4.9MB) 	12 千葉県 (ZIP : 6.9MB) 
13 東京都 (ZIP : 4.0MB) 	14 神奈川県 (ZIP : 3.4MB) 	15 新潟県 (ZIP : 6.7MB) 
16 富山県 (ZIP : 2.9MB) 	17 石川県 (ZIP : 2.8MB) 	18 福井県 (ZIP : 2.8MB) 
19 山梨県 (ZIP : 3.0MB) 	20 長野県 (ZIP : 7.6MB) 	21 岐阜県 (ZIP : 5.2MB) 
22 静岡県 (ZIP : 7.6MB) 	23 愛知県 (ZIP : 5.6MB) 	24 三重県 (ZIP : 6.6MB) 
25 滋賀県 (ZIP : 1.7MB) 	26 京都府 (ZIP : 4.0MB) 	27 大阪府 (ZIP : 2.2MB) 
28 兵庫県 (ZIP : 8.7MB) 	29 奈良県 (ZIP : 2.6MB) 	30 和歌山県 (ZIP : 4.7MB) 
31 鳥取県 (ZIP : 2.7MB) 	32 島根県 (ZIP : 5.7MB) 	33 岡山県 (ZIP : 8.0MB) 

必要な県のデータを DL し解凍してください。旧高旧領取調帳に含まれていない北海道と沖縄県は使いません。

全国のデータを作成する場合、全ての農業集落境界データを QGIS 等でマージしてください。

4. データの作成

用意したデータと R を用いてデータを作成していきます。

工程は次の 3 段階です。

- ① データベースれきはくの整理
- ② 近世村ポイントデータの作成
- ③ 近世村ポリゴンデータの作成

4.1. データベースれきはくの整理

01_JoinData_[日付].R を用いて。データベースれきはくのデータ (01_Rekihaku.csv) と差分データを統合し、旧高旧領取調帳に固有の村 ID (VID) を付与します。

01_JoinData_[日付].R を開き、赤字のところに 03_src フォルダまでのパスを記載してください。また、V2.*を用いる場合は BaseRecord に 02_Base_Record_diff_v2.csv を入れてください。

```
#####  
#  
# 01_データベースれきはくの整理  
#  
# 2023/11/08 遙嶽  
#####  
  
#①作業フォルダの設定  
setwd("C:¥¥03_src ")  
  
#データベースれきはく  
dBReki<-read.csv("¥¥01_org¥¥01_Rekihaku.csv", fileEncoding="sjis")  
#UID 毎の緯度経度  
UIDloc<-read.csv("¥¥01_org¥¥03_VID_latlon_230930.csv", fileEncoding="sjis")  
#基本形式  
BaseRecord<-read.csv("¥¥01_org¥¥02_Base_Record_diff.csv", fileEncoding="sjis")
```

R プログラムの実行は、このテキストを全てコピーして R に張り付けて実行してください。

出力は 03_result フォルダに BaseRecord_Join.csv が出来上がります。

※Warnings () のメッセージ： In as.numeric(tmpdB[9]): 強制変換により NA が生成されました は無視してください

表 1 BaseRecord_Join.csv フィールド構造

名称	型	例	備考
番号	Integer	6481	
	RekiID		
国 ID	Strinig	K74	
郡 ID	Strinig	K74G01	
国郡	Strinig	羽後飽海郡	
村 ID	Strinig	S00001	
VID	Strinig	K74G01S00001	
旧国名	Strinig	羽後	
旧郡名	Strinig	飽海郡	
村名	Strinig	大町村	
ふりがな	Strinig	おおまち	旧高旧領取調帳データベースどおり
旧領名取調帳	Strinig	出羽大泉藩	旧高旧領取調帳データベースどおりの整理 V2.*では他の資料から修正も行っている
旧領名整理	Strinig	出羽庄内藩	旧高旧領取調帳データベースから記載を整理 但し、V2.*では他の資料から修正も行っている
石高	Real(10.4)	378.9972	村の総石高
備考	Strinig		備考
Longitude	Real(10.7)	経度	WGS84
Latitude	Real(10.7)	緯度	WGS84

4.2. 近世村ポイントデータの作成

02_VillagePoint_[日付].R を用いて。整理した BaseRecord_Join.csv から村 ID (VID) 毎に整理し、近世村ポイントデータの CSV を作成します。

02_VillagePoint_[日付].R を開き、赤字のところに作業フォルダのパスを記載してください。

```
#####  
#  
# ②    近世村ポイントデータの作成  
#  
# 2023/11/08 遙嶽  
#####  
  
#作業フォルダの設定  
setwd("C:¥¥03_src ")
```

R プログラムの実行は、このテキストを全てコピーして R に張り付けて実行してください。

出力は 03_result フォルダに近世村ポイントデータ.csv が出来上がります。

表 2 近世村ポイントデータフィールド構造

名称	型	例	備考
番号	Integer	6481	
相給	Integer	1	相給領主の数、旗本領等集約した領分は1つとカウント
国 ID	Strinig	K74	
国名	Strinig	羽後	
郡 ID	Strinig	K74G01	国 ID の結合
郡名	Strinig	飽海郡	
国郡	Strinig	羽後飽海郡	
村 ID	Strinig	S00001	
VID	Strinig	K74G01S00001	
村名	Strinig	大町村	
よみ	Strinig	おおまち	旧高旧領取調帳データベースどおり
領分1	Strinig	出羽大泉藩	最も石高の大きい領分
石高計	Real(10.4)	378.9972	合計石高
石高1	Real(10.4)	378.9972	最も石高の大きい領分の石高
領分2	Strinig		2 番目に石高の大きい領分
石高2	Real(10.4)		2 番目に石高の大きい領分の石高
領分3	Strinig		3 番目に石高の大きい領分
石高3	Real(10.4)		3 番目に石高の大きい領分の石高
領分4	Strinig		4 番目に石高の大きい領分
石高4	Real(10.4)		4 番目に石高の大きい領分の石高
領分5	Strinig		5 番目に石高の大きい領分
石高5	Real(10.4)		5 番目に石高の大きい領分の石高
領分6	Strinig		6 番目に石高の大きい領分
石高6	Real(10.4)		6 番目に石高の大きい領分の石高
Longitude	Real(10.7)	経度	WGS84
Latitude	Real(10.7)	緯度	WGS84

出来上がった近世村ポイントデータ.csv から QGIS を使って近世村ポイントデータを作成します。QGIS を起動します。

メニュー -> レイヤ -> データソースマネージャー

を開きます。

ファイル名に作成した近世村ポイントデータ.csv を入れます。

文字コード : Shift_JIS、ポイント座標を X 属性 : Longitude、Y 属性 : Latitude、ジオメトリの CRS : WGS84 として「追加」を押します。

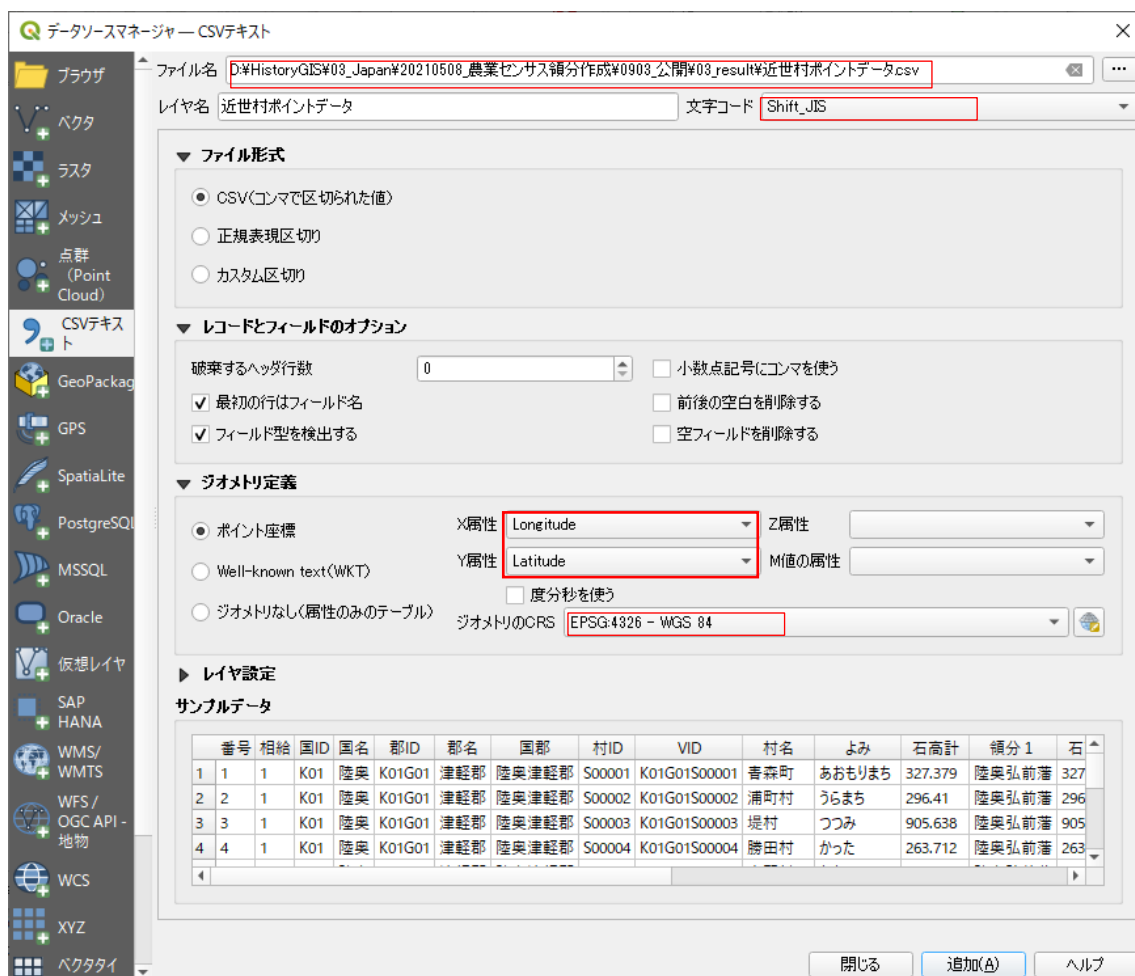


図 4 データソースマネージャーの設定

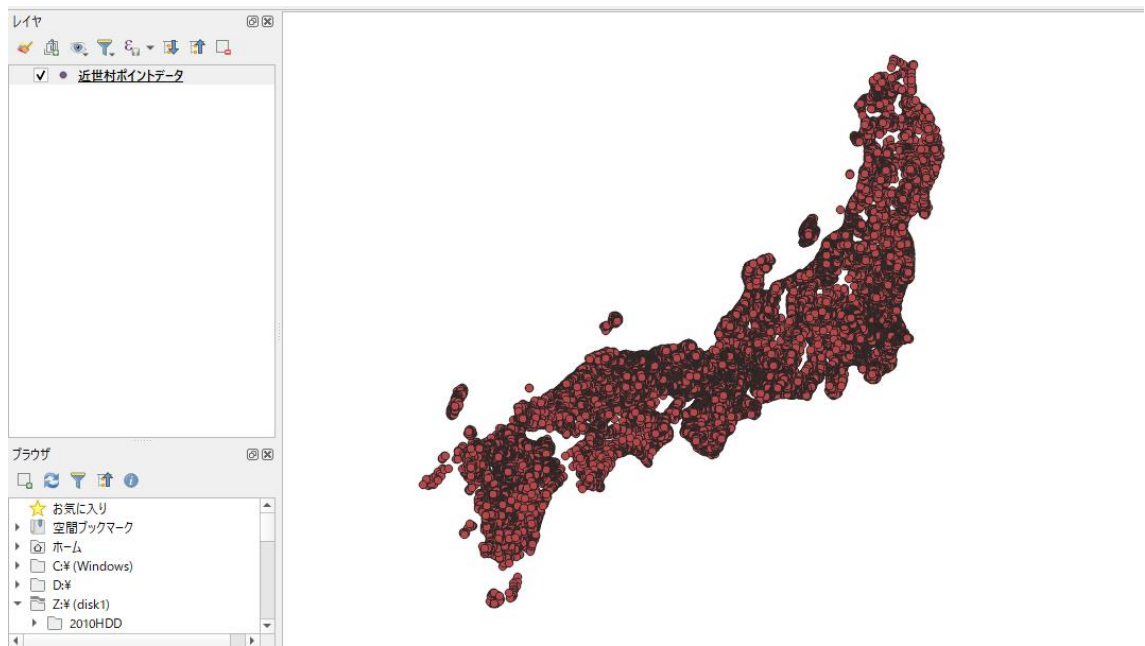


図 5 QGIS 出力結果例

4.3. 近世村ポリゴンデータの作成

03_PolygonField_[日付].R を用いて、近世村ポイントデータから、分割できない村を統合して農業集落境界データと統合する AID ごとに再整理します。その後、農業集落境界データと統合して近世村ポリゴンデータを作成します。

① R の実行

03_PolygonField_[日付].R を開き、赤字のところに作業フォルダのパスを記載してください。

```
#####  
#  
# ③ 近世村ポリゴンデータの作成  
#  
# 2023/11/08 遙嶽  
#####  
  
#作業フォルダの設定  
setwd("C:¥¥03_src ")
```

R プログラムの実行は、このテキストを全てコピーして R に張り付けて実行してください。

出力は 03_result フォルダに近世村ポリゴンデータ.csv が出来上がります。

表 3 近世村ポリゴンデータフィールド構造

名称	型	例	備考
番号		29340	
村数		2	同じ領域含まれる近世村ポイントの数
国 ID	Strinig	K31	
国名	Strinig	山城	
郡 ID	Strinig	K31G04	
郡名	Strinig	紀伊郡	
国郡	Strinig	山城紀伊郡	
村 ID	Strinig	S00023A	
AID		K31G04S00023A	AID(≠VID)領域と統合するための ID
村名	Strinig	景勝村・毛利治部村	村名、統合している場合は・で連結
よみ	Strinig	かげかつ・もうり じぶ	旧高旧領取調帳データベースに従う。追加村はなし
石高計	Real(10.4)	398.0600	2 番目に石高の大きい領分の石高
領分1	Strinig	幕領	最も石高の大きい領分
石高1	Real(10.4)	398.0600	2 番目に石高の大きい領分の石高
領分2	Strinig		3 番目に石高の大きい領分
石高3	Real(10.4)		2 番目に石高の大きい領分の石高
領分3	Strinig		3 番目に石高の大きい領分
石高3	Real(10.4)		3 番目に石高の大きい領分の石高
領分4	Strinig		4 番目に石高の大きい領分
石高4	Real(10.4)		4 番目に石高の大きい領分の石高
領分5	Strinig		5 番目に石高の大きい領分
石高5	Real(10.4)		5 番目に石高の大きい領分の石高
領分6	Strinig		6 番目に石高の大きい領分
石高6	Real(10.4)		6 番目に石高の大きい領分の石高
領分7	Strinig		7 番目に石高の大きい領分
石高7	Real(10.4)		7 番目に石高の大きい領分の石高
領分8	Strinig		8 番目に石高の大きい領分
石高8	Real(10.4)		8 番目に石高の大きい領分の石高

② 農業集落境界への AID の統合 (QGIS)

次に QGIS を用いて農業集落境界データと統合します。

全国または任意の県の農業集落境界データを QGIS で表示し、
01_org/05_KEY_AID_230930.csv を KEY フィールド同士で結合します。

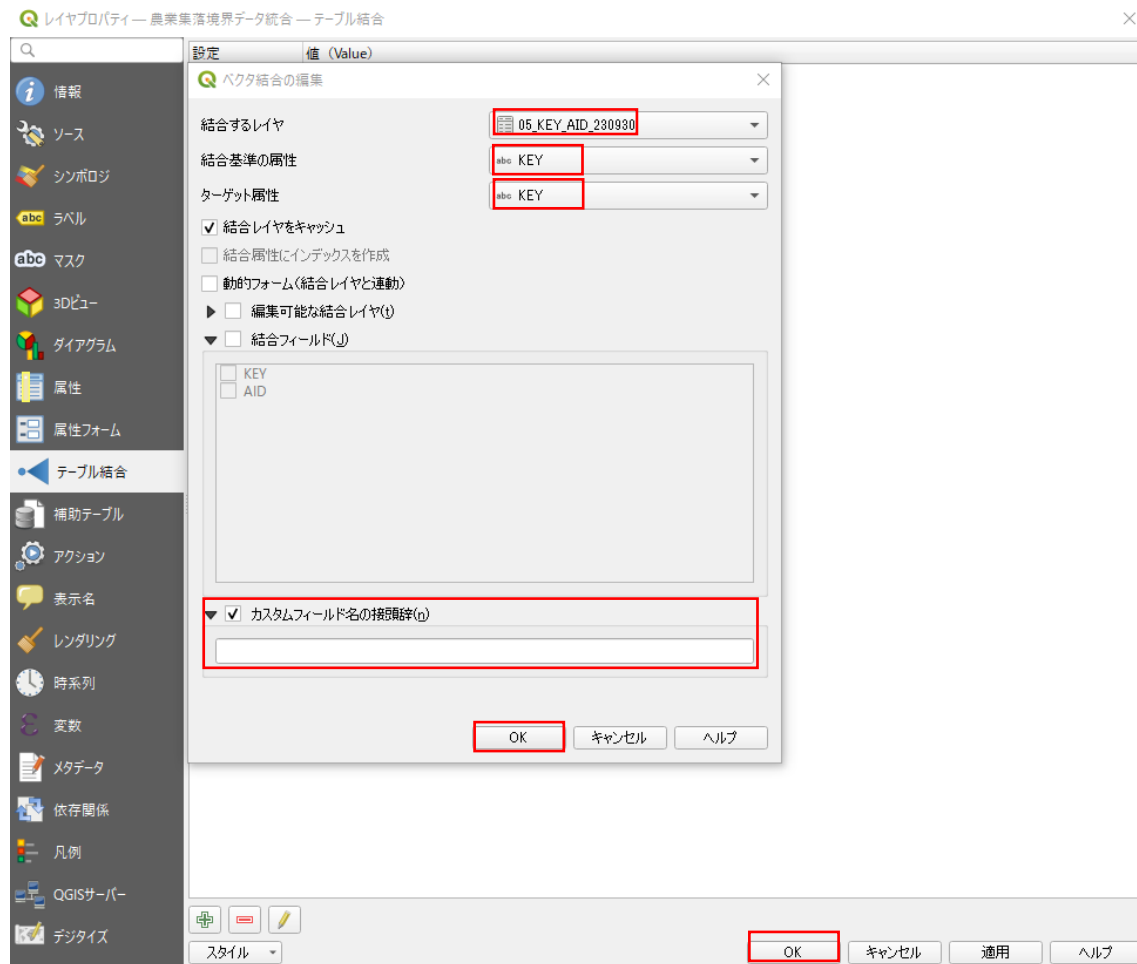
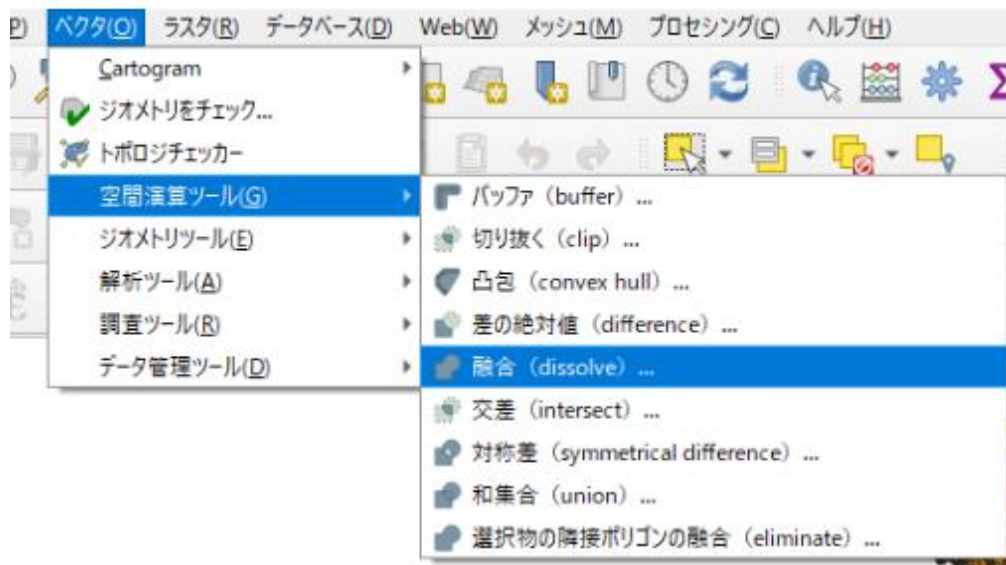


図 6 農業集落境界データと AID の結合

③ 農業集落境界データの融合

ベクター -> 空間演算ツール -> 融合 (dissolve)



AID を使ってポリゴンを融合します。

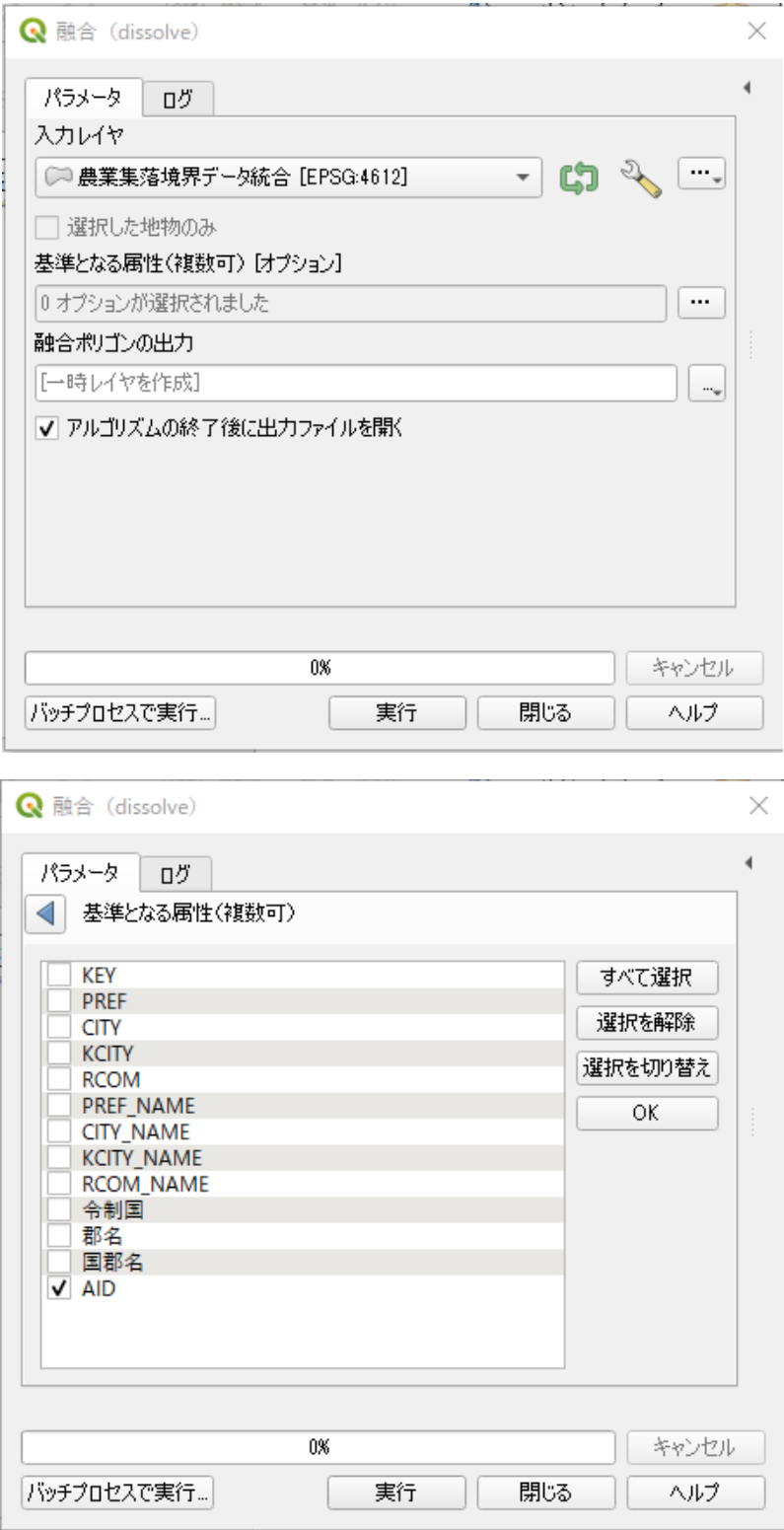


図 7 農業集落境界データの融合

④ 融合したポリゴンに近世村ポリゴンデータ.csv を結合する

近世村ポリゴンデータ.csv を AID フィールドで結合する。

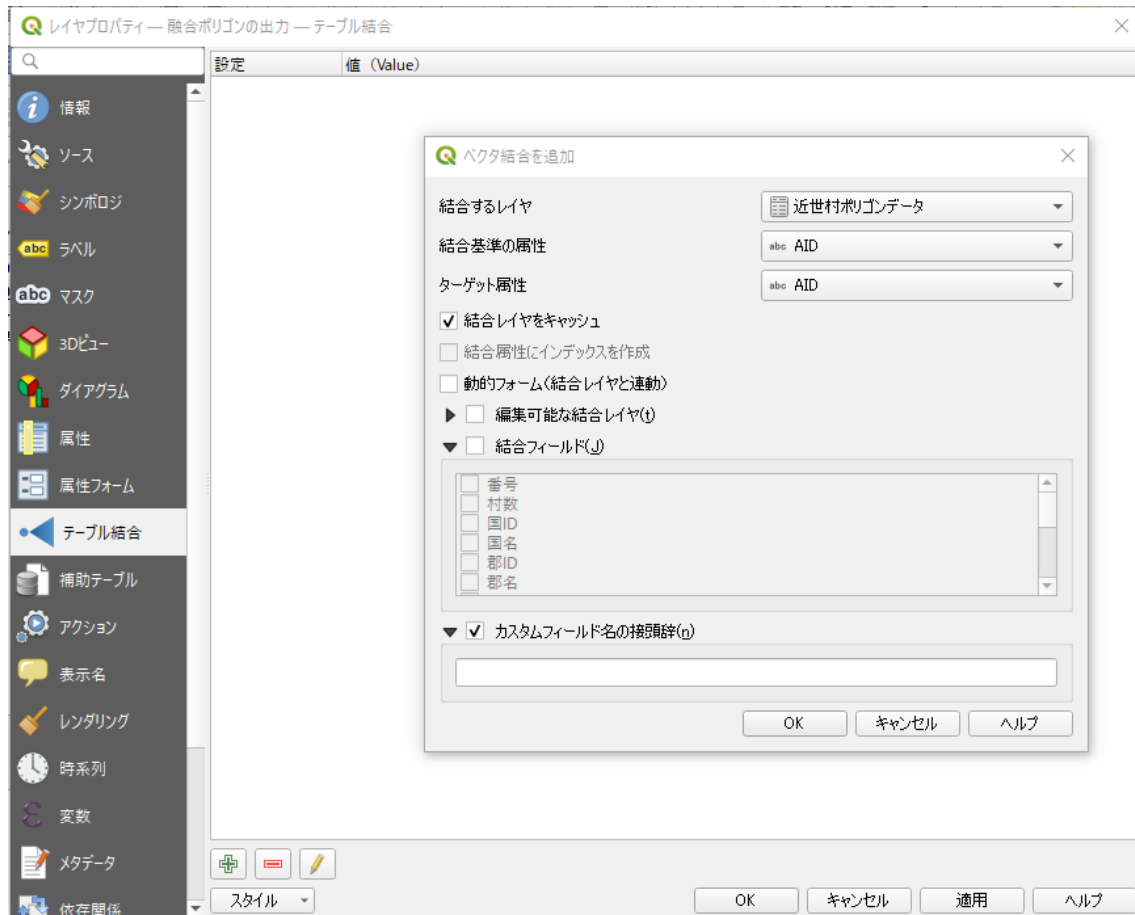


図 8 AID で融合した農業集落境界データへの近世村ポリゴンデータの結合

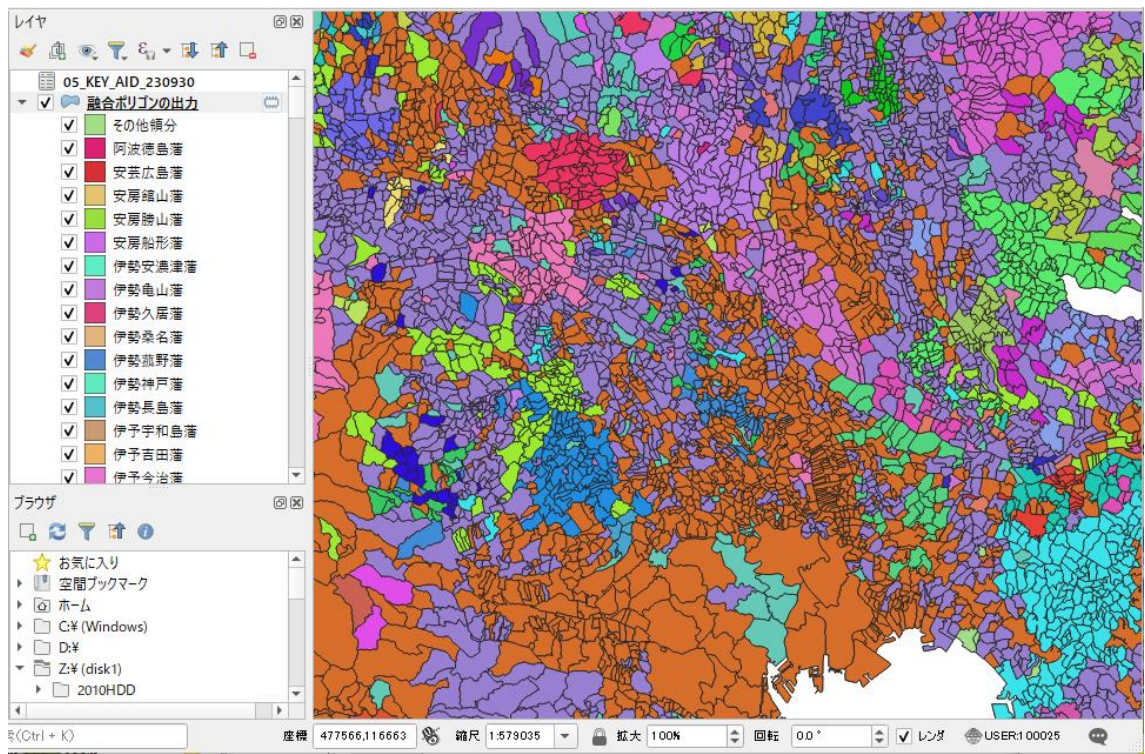


図 9 完成データ例